

こころをあわせて

「どうか同じ思いとなり、同じ愛の心を持ち、心を合わせ、
ひとつ思いになって、私の喜びを満たして欲しい。
おのあの、自分のことばかりでなく、
他人のこととも考えなさい。」

口語訳（ピリピ人への手紙 2 章 2 節・4 節）

スポーツの秋、食欲の秋・・・何だかワクワクするこの時期。今年
は残暑が続きましたが、運動会を行われた園も多かったことと思いま
す。私たちの園でも 10 月 14 日（スポーツの日）に運動会を開催し
ました。

めぐみのその幼稚園の 9・10 月の暗唱聖句はピリピ人への手紙 2
章 2 節、4 節です。このみ言葉を子どもたちと分かち合いながら運動
会という一つの目標に向けてみんなで歩んできました。勝敗はつきま
すが、頑張った子どもたちの表情はキラキラと輝き自信に満ち溢れて
います。勝ったときの喜び、負けたときの悔しさ。「うれしい！」「く
やしい！」この心の動きが子どもたちをさらに成長させてくれます。
それまでの子どもたちの頑張りをみんなが知っていますし、なにより
も神さまが知ってくださっています。自分の頑張りを認め、お互いの
頑張りを認め合うことのできるそのような子どもたちに育ててほし
い、そのように願っています。

また、私たちが楽しく運動会をしているときも、普段の保育の中で何気なく笑っているときも、世界に目を向けると食べるものがなく苦しんでいる人、戦火の中で怯えて暮らしている人がたくさんいることを忘れてはいけません。

運動会のお昼のお祈りでは年長さんがこのようなお祈りをしてくれます。「・・・きょうも せかいのなかにはたべるものがなくておなかをすかせているひとたちがいます。そのひとたちにも ごはんをあげたいです。しんせつなひとが たくさんになるようにしてください・・・」

まだ話をしたこともない人、出逢ったこともない人を覚えて祈る。神さまは私だけが良ければという思いを喜ばれないお方です。

パウロさんがピリピの教会に宛てて手紙を書いたように、「私が！私が！」と自分のことばかり考えるのではなく、まず「神さまならどうされるかな？神さまが喜ばれることはどんなことかな？」と神さまのみ心を聞き、祈りながらこれからも歩んでいきたいものです。

めぐみのその幼稚園 園長 丸田 恵美

・ 祈りの課題

- ①日本バプテスト保育連盟の働きのために
 - ②教会の方々が保育現場へ導かれるために
 - ③教職員の主日礼拝参加と喜びのために
- 皆さまの祈りに加えて頂ければ幸いです。

ご支援を頂ければ幸いです

日本バプテスト保育連盟は、イエス様が大切にされた最も小さきこどものために働かれる保育者の研修や情報交換、情報提供のため、各園からの会費によって運営されています。我々の理念にご賛同いただき、運営に対する献金をお献げ頂ければ幸いです。

☆振込先・ゆうちょ銀行

記号：17470

番号：83555851

名前：日本バプテスト保育連盟

(ニホバプテストホイクリメイ)

2024年度 日本バプテスト保育連盟 総会・研修会

会場：日本バプテスト仙台基督教会 2階礼拝堂

参加：14施設、23名

日程：2024年8月22日（木）～2024年8月24日（土）

8月22日（木）開会礼拝（宣教 宇都宮毅 牧師）

総会・近況報告・情報交換会（仙台ガーデンパレス）

8月23日（金）被災地訪問（石巻市・月の浦他）

8月24日（土）研修会「新キリスト教保育指針について」

（尚綱学院大学子ども学類教授 東義也先生）

派遣礼拝（宣教 浦肇牧師 牧師）

2024年度の日本バプテスト保育連盟総会・研修会では、日々の保育活動に対する理解を深め、全国の保育者同士が意見交換を行う貴重な機会を得ることができました。8月22日、宇都宮毅牧師の宣教で開会礼拝が行われました。続いて総会と各施設からの近況報告では、少子化や人材不足など保育現場が抱える課題が共有され、各施設の取り組みや創意工夫が発表されました。18時30分からは情報交換会が開かれ、普段はなかなか顔を合わせられない先生方同士で豊かな交わりのときを持ちました。また活発な意見交換ができ、共通の悩みや課題に対する考えを共有できたことが励みとなりました。

2日目には、石巻市や月の浦など震災の被災地を訪問し、震災の影響や地域の復興の歩みを間近で感じる機会を得ました。ガイドの方の説明を聞き、震災からの復興に向けた地域の努力に深い感銘を受けました。保育者としての使命感と支援の在り方を再確認し、自らの役割を再考するきっかけとなりました。

3日目には、尚綱学院大学の東義也教授による「新キリスト教保育指針について」の講義が行われ、キリスト教の価値観に基づいた保育の新たな方向性を学びました。新指針が目指す子ども中心の教育と保育者の関わり方について深く理解し、実践に活かす意欲が湧きました。最後に、浦肇牧師の派遣礼拝で締めくくられ、保育者としての信仰と役割に対する意識がさらに高まりました。報告 会長 田中秀一

